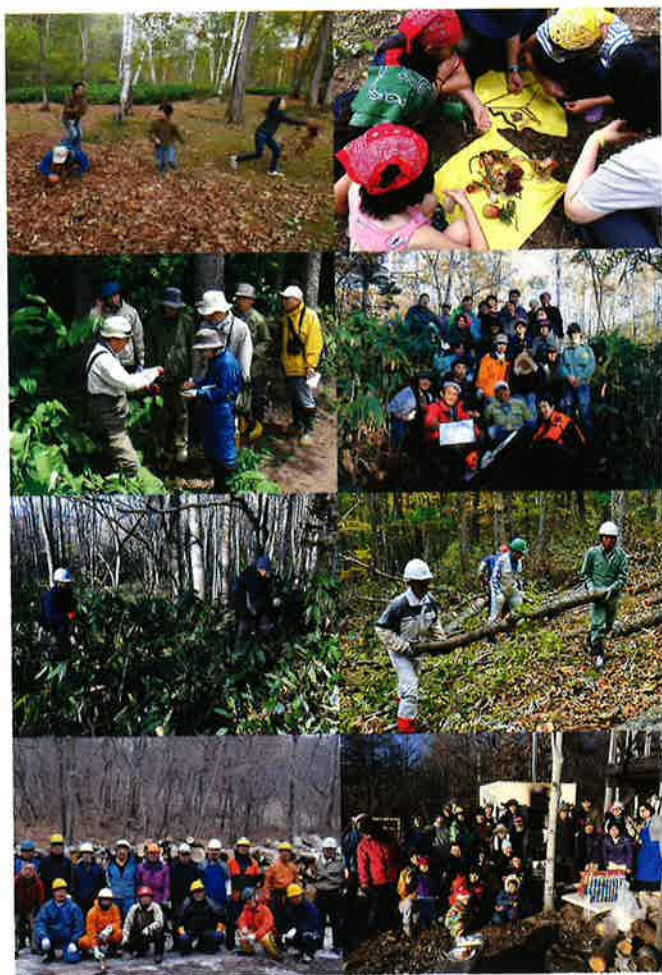


【帯広・旭川・北見】

森林・山村多面的機能発揮対策交付金 制度説明会・活動報告会 「地域の森で仕事をつくろう」

開催報告



全道3都市で開催しました。

平成28年度の交付金事業継続と新規募集が決定しました。実際に制度を活用して森林保全や整備を行っている団体の活動から、交付金活用のための情報や活動のヒントをお持ち帰りいただくために、道内3会場で、制度説明会・活動報告会を開催しました。

【帯広会場】

日時/平成27年11月27日(金)14:00～16:20
会場/日専連ビル イベントホール
(帯広市西2条南8丁目8)

【旭川会場】

日時/平成27年12月1日(火)14:00～16:20
会場/ワシントンホテル旭川 ラベンダー
(旭川市宮下通7丁目)

【北見会場】

日時/平成27年12月2日(水)14:00～16:20
会場/北見市民会館 会議室4号室
(北見市常盤町2-1-10)

全道3都市 制度説明会・活動報告会 概要



帯広会場 制度説明 正城仁志氏

【制度説明会・活動報告会内容】

(1) 交付金制度説明

北海道水産林務部森林環境局 森林活用課 環境整備グループ
(帯広)正城 仁志 氏 (旭川・北見)由比 孝明 氏
(内容はP3～P4をご参照ください)

(2) 森の仕事づくり～道内の交付金制度活用事例

北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会
阿部 昭彦

(3) 活動紹介～各地での団体の取組み

(4) 交付金活用のための情報交換会

■主催/北海道水産林務部森林環境局森林活用課

北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会
認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

森の仕事づくり～道内の交付金制度活用事例 北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会

本交付金は、地域にある身近な里山の保全整備や活用の取組みを支援し、地域コミュニティの関心や活力を高めて、地域の活性化につなげることを目的としています。交付金を活用する活動組織は、平成25年の事業開始以降、年々数が増え、現在は74組織が活動をしています。活動地域は全道に広がっていますが、活動組織は道央圏に多く存在します。

活動組織の構成は、NPOや団体、一般企業が中核となるものや個人のみで立ち上げたグループ組織が大半ですが、森林組合、市町村が有志を募って組織化した活動組織もあります。

活動の多くは、森林内の風倒木、支障木の整理や下草刈り、伐採木の薪利用などですが、整備された森林を利用した森林学習会も行われています。また、地域の森林行政課題の解決に、地域住民と役場担当者が一緒になって活動組織を立ち上げ、交付金を活用して地域材の利用促進や森林公園の整備等を行う例もあります。そのほか、森林組合と組合員が活動組織を立ち上げ、長らく手を入れることが出来なかった森林の整備に取組む例もあります。

本交付金は、組織メンバーへの活動対価や活動に必要な道具類の整備を対象とすることができます。また、活動フィールドは公有林や森林公園、学校林、保安林などが考えられます。活動のための組織構成や活動フィールドの例をヒントに、アイデアあふれる交付金の活用を編み出し、地域に新しい仕事をつくり、新たな雇用に結びつけることができればと考えます。



帯広会場 制度説明 阿部昭彦



旭川会場 情報交換会 風景